

ページ	問題番号 タイトル	行数	訂正内容		備考
P. 441	問題 127 新古典派 成長理論	下から 4行目	誤	<p>さらに労働者1人あたり産出量は生産関数 $Y_t = \sqrt{K_t} \sqrt{L_t}$ を L で除すこととで $\sqrt{\frac{Y_t}{L}}$ で求められ、$\frac{Y_t}{L} = \frac{\sqrt{K_t} \sqrt{L_t}}{L}$ の右辺を変形すると、$\frac{K_t}{L}$ となり、その値は3となる。</p>	2023/ 2/6
		下から 4行目	正	<p>また問題文2行目の条件より、労働投入 L は期間を通して一定であるため、生産関数 $Y_t = \sqrt{K_t} \sqrt{L_t}$ は $Y_t = \sqrt{K_t} \sqrt{L}$ と表すことができる。</p> <p>よって、労働者1人あたり産出量は、生産関数 $Y_t = \sqrt{K_t} \sqrt{L}$ を L で除すことで求められることから、</p> $\frac{Y_t}{L} = \frac{\sqrt{K_t} \sqrt{L}}{L}$ <p>と表すことができる。ここで、$\frac{\sqrt{L}}{L} = \sqrt{L} \times \frac{1}{L} = L^{0.5} \times L^{-1}$ であるから</p> $\frac{Y_t}{L} = \frac{\sqrt{K_t} \sqrt{L}}{L} = K_t^{0.5} \cdot L^{0.5-1} = K_t^{0.5} \cdot L^{-0.5} = \frac{K_t^{0.5}}{L^{0.5}} = \sqrt{\frac{K_t}{L}}$ <p>を得る。したがって、$\frac{K_t}{L} = 9$ であるから、</p> $\frac{Y_t}{L} = \sqrt{\frac{K_t}{L}} = \sqrt{9} = 3$ <p>となり、労働者1人あたり産出量 $\frac{Y_t}{L}$ は3と求められる。</p>	

※「掲載日」は、上記訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/info/teisei/>)に掲載された日付です。